

## 来年度、少人数学級パイロット事業を拡充します。

多くの県民から強い要望が寄せられていた小・中学校の少人数学級について、現在、小学校3・4・5年生、中学校1年生で実施している少人数学級パイロット事業を、来年度は小学校6年生、中学校2・3年生にも拡充します。

これにより、義務教育9年間すべてで少人数学級が実施されることとなります。

## &lt;少人数学級パイロット事業の内容&gt;

1クラスの児童生徒数が36から40人となる学級について、35人以下編制とする。ただし、教育上の配慮から、1クラスあたり25人を下回らないものとする。

## &lt;当県の少人数学級実施学年の推移&gt;

	小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3
H13	32	32	40	40	40	40	40	40	40
:	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓
H24	32	32	40	40	40	40	40	40	40
H25	32	32	35	40	40	40	40	40	40
H26	32	32	35	35	35	40	35	40	40
H27	32	32	35	35	35	35	35	35	35

※ H13より小学校1・2年生において32人学級編制を実施

※ H25より少人数学級パイロット事業を導入

## 現在の国の基準

小学校1年生は35人、2年生以上及び中学校は40人編制が基準

## ① 1学年41人の場合

国の基準40人を超える41人であれば2学級編制となる。⇒ 21人と20人の2クラス

## ② 1学年39人の場合

20人と19人の2クラス編制の場合でもいずれも25人以下のためパイロット事業の適用はない。

## ③ 1学年75人の場合

国の基準である40人を超える75人の場合は38人と37人の2クラス編制となるが、パイロット事業により35人以下編制とするため3クラスとなる。

この場合75人÷3クラス=25人となり、いずれのクラスも25人以上となるためパイロット事業が適用される。